

研究計画書

| | | | |
|---------------|--|-------------|-----|
| ゼミ名 | 森ゼミ II | チーム名 | 森医院 |
| タイトル | 遠隔医療 | | |
| テーマ群 | e) 産業・企業 | | |
| メンバー | | | |
| 研究計画内容 | <p>今回私たちのチームは、遠隔診療と対面診療の支払意思額を比較し、消費者が医療に安全・安心感を求めるのか、便利さや先進性を求めるのか、まだ広く普及していない遠隔診療の仮想的評価を CVM というアンケート実験を通じて調べる。今回私たちのチームでは、対面診療の支払意思額と比較する形で、まだ広く普及していない遠隔診療に対する支払意思額を割り出すことで、2 つのサービスを比較分析し、消費者が医療に安全・安心感を求めるのか、便利さや先進性を求めるのか調べる。さらに、年齢や性別で時間とお金の価値は違うと考えるため、この違いを調べることで、それぞれの医療の需要を知ることができると思う。</p> <p>今回、遠隔医療に注目した点について 2 つ挙げる。1 つ目は電子カルテの台頭と今後発展するであろう遠隔医療に人々がどのような関心を抱いているか興味が湧いたためである。2015 年 8 月に出された厚生労働省の通達により、近年初めて企業などで遠隔医療サービスを提供する動きが起こっている。このように日本でも巷に広がりつつある遠隔診療に興味をわいたため考察しようと考えた。2 つ目の理由として、インターネットを駆使した新しい医療技術ロボット、ダヴィンチに興味をわいたためである。ダヴィンチとは遠隔操作で手術を行うロボットである。ダヴィンチを使用することによって、医師は手術台に立たず、遠隔地からインターネットを通じて手術を行うことができる。開腹手術と比べ、小さい傷で済み出血が抑えられる。また開腹手術と比べ入院日数が 1 週間以上短縮されるのである。</p> <p>今回は遠隔診療を CVM 方式で明らかにするにあたり行動経済学のアンケート効果を使って明らかにしていく。今回のアンケートでは、学生 250 人、社会人 50 人に協力してもらい調査し考察を述べていく。</p> | | |